

NO 11	加賀屋省CO2化ホスピタリティマネジメント創生事業		株式会社 加賀屋	
提案概要	本プロジェクトが温泉旅館の省CO2化の先導モデルとなり、省CO2化マネジメント技術の導入と実証を行い、その成果を全国の温泉旅館、そして海外からのインバウンド観光客に提供することにより、全国更には世界に向けて省CO2化を推進する。			
事業概要	部門	マネジメント	建物種別	建築物(非住宅・一般部門)
	建物名称	加賀屋本館、加賀屋姉妹館あへの風	所在地	石川県七尾市
	用途	ホテル	延床面積	71,787 m <sup>2</sup>
	設計者	株式会社トリリオン	施工者	株式会社エオネックス
	事業期間	平成22年度～平成24年度		

概評	エネルギーを多消費している温泉旅館における省CO2マネジメントの導入は、少ない費用で大きな省CO2効果を得られる可能性が大であり、その検証を行う試みには先導性がある。今回の取り組みに基づいて作成する温泉事業者向けの省エネルギーガイドラインの活用により、同業他社への波及が期待できる。
----	---

参考図



ハード対策 その1

加賀屋本館とあへの風にBEMSを設置し、省CO<sub>2</sub>化に関係する**エネルギーの動きを「見える化」**する

ハード対策 その2

BEMSのデータを解析し、効率的なボイラー制御等ができるシステムの詳細設計を実施する

ハード対策 その3

詳細設計の結果に基づく設備の更新と改善を行う

ソフト対策 その1

削減された燃料コストの一部を原資に「**加賀屋環境基金**」を創設し、地域のCO<sub>2</sub>排出削減の取り組みを支援する

ソフト対策 その2 (ホスピタリティ対策)

サービスの質を低下させる事なく省エネを実施する為の様々な対策実行や、宿泊客向けの省CO<sub>2</sub>に関する普及啓発のアナウンス等、**省CO<sub>2</sub>化に対応した「おもてなし」**を実行する

温泉事業者向け省エネルギーガイドラインの作成

今回の取り組みを基に、省エネ設備の実装等のハード対策の標準化と、地域貢献をはじめとするソフト対策の事例を取り纏め、今後全国の温浴施設が省エネ対策に取り組むための教科書(ガイドライン)を作成し、実績報告書と共に国土交通省に提出する